

輝け 常葉っ子

さすが6年生！最上級生の考えは立派！（道徳科の授業感想より）

常葉地区の幼小連携・小中一貫教育推進事業～6年生授業公開～

投稿日時：06/07  常葉小-サイト管理者 カテゴリ:今日の出来事

6月5日、小中一貫教育推進の取り組みとして、校長による道徳科と6年2組担任による社会科の授業公開を行いました。道徳科はカウンセラー鈴木敏城先生をゲストティーチャーにお招きし、「希望を持つことの大切さ」をテーマにした授業を行いました。叶わない「希望」に意味はあったのか・・・がん治療と向き合いながらカウンセラーの仕事を続ける鈴木先生の「希望」とは・・・6年生児童は真剣に考え、学びを深めていました。



先日、ホームページでお知らせしたとおり6年生の授業公開がありました。私（校長）は、2時間続きの道徳科の授業を行いました。授業後の感想がすばらしかったので、全校生へ紹介します。

（低学年の皆さんは担任の先生か、お家の人に読んでもらってください。）

- ・希望について深く考えられました。そんなに大きいっぱなものじゃなくても、かなったとしてもかなわなかったとしても、希望を持つことが大切だとわかりました。
- ・希望は大きかろうが、小さかろうがもつことで「がんばろう」と思えるし、その希望がまた他の人の希望とつながるかもしれない、ということが大切だとわかりました。
- ・希望はでっかくなっていいんだと思いました。今自分がじゅんすいにやりたいことをまっすぐ続けていきたいと思いました。
- ・今まではそんな希望なんてない、と思っていたけど、今の目標である「習字のコンクールでいい賞をとる」ということも、これからは希望の一つだと思っていました。
- ・私は、今回の授業で「希望」とは大きなもの「うお～」みたいになんかやるものではなく、身近な「楽しみみたいなこと」でいいんだなと思いました。これからはもっと希望を作って楽しく過ごしていきたいです。
- ・私は、この学校に転校してきて、先生もクラスみんなもやさしく、楽しく、うれしい気持ちになりました。そして、自分の希望で目標を決めました。「毎日、楽しい気持ちで生きる。」が目標です。この目標に向かってがんばりたいです。

校長先生は、皆のささやかな希望に目を向けて日々をがんばろうという姿勢にとっても感動しました。常葉小自慢の6年生をこれからも応援していきます。

他の学年の皆さんもせんぱいを見習って毎日を希望をもってすごせるといいですね！